

「学校の新しい生活様式」をふまえた学校経営

R3.4 苫小牧市立明野小学校

教育目標	未来社会を築く力を身に付ける児童の育成（進んで学ぶ子 思いやりの心をもつ子 じょうぶな体をつくる子）H6.4 制定			
目指す子どもの姿 (指導の重点)	人を大切にする子 協働し共に生きる態度	自分の考えをもつ子 探究力 創造性	自分の考えを表現する子 情報活用力 コミュニケーション能力	チャレンジする子 自主性 主体性
今年度の課題(経営の重点)	地域・家庭との信頼関係づくり	コロナ対策・働き方を踏まえた教育活動づくり	学びと生活の環境づくり	
課題解決の 考え方・方法	○教育活動にかかわる説明責任の徹底 (ねらい・内容・その効果) ○様々な場面での丁寧な対応 (全職員が同じ対応を心がける)	○Scrap and Build で教育活動を見直す (何を無くし、何を残し、何を作り替えるか) ○保護者側のメリットで考える視点をもつ (地域・保護者の共感と理解を得る)	○安全で安心な学校 (何でも話せる空気と子どもに寄り添う姿勢) ○学習・生活習慣の定着 ○ICT・タブレット端末を活用した学習	



具現化

※プロジェクトの充実と「学校の新しい生活様式」、保護者の願いをふまえて具現化を図る

○縦割り班による活動の充実(遠足・清掃・その他)
(「学校の新しい生活様式」を踏まえた軌道修正あり)

○プロジェクト活動(児童会活動)の充実(「学校の新しい生活様式」を踏まえて創意工夫を凝らす)

○学校行事等の改善・充実(プロジェクトの導入)
・スポーツフェスティバル・文化フェスティバル・修学旅行・宿泊学習・遠足・体力づくり 他
(「学校の新しい生活様式」を踏まえた軌道修正あり)
・その他の諸活動の見直しと精選

○基本的な生活習慣の確立
・「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」運動
・情報モラル教育の充実

○学びの土台づくり(「明野スタンダード」の定着・授業改善推進チームの活用・教科担任制の一部導入・学習指導員との連携)

○「主体的・対話的で深い学び」に向けての授業改善
・校内研修の充実
・「学校の新しい生活様式」を踏まえた授業の模索

○特別支援教育の充実
・子どもの困り感の把握と支援
・校内支援委員会の充実

○校内生活の改善
・校内では「いつでも・どこでも・だれにでも」のあいさつ指導
・時間を守る・廊下歩行

○保護者対応の意識化
・問題事案の報告連絡相談の徹底
・足並みをそろえた対応
(電話相談・来校相談・身だしなみ・名札の着用 等)

○安全管理
・災害時の引き渡し

○タブレット端末の計画的活用
・全教員が日常的に使えるための研修
・非常時に活用できるための準備

○カリキュラムデザイン
・生活科・総合的な学習の時間を核として

○うちガクの充実
・「学年×10分+10分」の意識化
・アドバイスと評価

○地域・学校評議員・保護者との連携
・教育活動の理解の工夫、協力体制の構築
・情報発信(メール、各種通信、ホームページ等)

○日常的な教育相談
・子どもの内面把握(悩み・いじめ・学力不振・友達関係・不登校 等)

○子どもと向き合う時間・働き方の改善・服務規律
・教科担任制(一部導入)
・外国語専科教員
・「わくわくデー」の活用
・出退勤の管理(打刻)
・業務の精選・交通安全等の徹底

○コロナ対策の指導の徹底
・マスク・消毒・換気・健康観察・手洗い 等
・3蜜回避の指導
・保護者への協力依頼

地域とともにある学校づくり